

ニュータウンの課題解決を目指すインフラ包括管理の
導入検討調査に係るプロポーザル

審 査 講 評

令和6年6月12日

ニュータウンの課題解決を目指すインフラ包括管理の
導入可能性調査に係るプロポーザル評価委員会

ニュータウンの課題解決を目指すインフラ包括管理の導入可能性調査に係るプロポーザル評価委員会（以下「審査委員会」という。）は、ニュータウンの課題解決を目指すインフラ包括管理の導入検討調査に関して、採点基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

令和 6 年 6 月 12 日

ニュータウンの課題解決を目指すインフラ包括管理の導入可能性調査に係る
プロポーザル評価委員会

委員長 五島 孝裕

1. 事業者の募集と審査委員会の会議の経緯

(1) 業務概要

① 業務の目的

1) インフラ包括管理の導入検討調査

本市は、昭和 40 年代に、民間事業者により大規模な戸建住宅地が各地に造成され、橋梁を含めた道路及び公園等の社会基盤が整備されて人口は急増した。そこで、社会基盤は老朽化する中、橋梁点検から補修設計及び補修工事管理等の一連の橋梁維持管理業務及び補修計画の流れを、先進事例を参考に本件業務で調査し実証しながら、その業務プロセスの最適化や効果検証を行う。

なお、道路・公園等の老朽化、遊休地の利活用等の解決のために、今回実証を含めた調査等を行う。

また、遊休不動産の活用、公共施設の統廃合による収益、コスト削減分をインフラの維持管理の財源として還流するモデルの検討を行う。

2) 橋梁定期点検

本市が管理する橋梁において、各部材の状況把握及び、第三者被害を与える損傷の早期発見等、効率的な維持管理を行うために必要な情報を得る。

3) 橋梁補修設計

過去の定期点検の結果から、補修が必要な橋梁において、工事発注に必要となる設計図書の作成等を行う。

② 契約期間

契約締結日から令和 7 年 3 月 7 日まで

(2) 募集のスケジュール

事業者の募集及び選定にあたってのスケジュールは、概ね次のとおりである。

日 程	内 容
令和 6 年 5 月 8 日 (水)	参加申込の受付開始
令和 6 年 5 月 15 日 (水)	質疑の受付締切 (3 者からの質疑)
令和 6 年 5 月 22 日 (水)	質疑の回答
令和 6 年 5 月 29 日 (水)	参加申込の受付締切
令和 6 年 6 月 4 日 (火)	第 1 次審査結果通知
令和 6 年 6 月 10 日 (月)	第 2 次審査
令和 6 年 6 月 12 日 (水)	第 2 次審査結果通知
令和 6 年 6 月下旬	契約締結

(3) 審査委員会の構成

ニュータウンの課題解決を目指すインフラ包括管理の導入可能性調査に係るプロポーザル評価委員会

審査委員会の構成は、次のとおりである。

役職	氏名	所属等
委員長	五島 孝裕	土木部 部長
副委員長	中澤 栄二	土木部 副部長（技術担当）
委員	小西 裕之	土木部 副部長
委員	足立 拓也	土木部 道路整備課長
委員	中津留 幸紀	土木部 道路整備課長（道路補修担当）
委員	勢田 慎一	土木部 道路管理課長
委員	阪本 一生	土木部 公園緑地課長

(4) 審査委員会の会議開催と経緯

審査委員会	開催日	内容
第1回	令和6年6月10日	受託候補者選定会議（プレゼンテーション・ヒアリングについての意見交換及び採点、優先交渉事業者の選定）

2. 提案内容に関する審査

(1) プロポーザル参加事業者

参加申込書及び企画提案書の提出のあった事業者（以下、「参加事業者」という。）は、次の2者であった。

No.	事業者名
1	(株)エイト日本技術開発 神戸支店
2	A社

(2) 見積価格の確認

令和6年5月29日期限の企画提案書提出において、参加事業者の見積価格は以下のとおりであった。

No.	事業者名	見積金額
1	(株)エイト日本技術開発 神戸支店	35,075,000 円
2	A社	35,075,000 円

(消費税及び地方消費税を除く)

(3) 評価基準

評価基準表（第1次審査 100点、第2次審査 100点）

評価項目		評価の着眼点
経済性	見積価格	・ $A \times 0.798$ 60点
	橋梁定期点検、補修設計に限る	・ $A \times 0.798$ を超え、 $A \times 0.9$ 未満 20点 ・ 上記以外の見積価格 0点 (A: 予定価格) ※見積価格は、千円未満を切り捨てた額とする
業務実績	道路施設等の包括的民間委託業務等における企業の実務実績 (配点 5点)	包括的民間委託業務又は同業務の導入可能性検討業務に係る業務に対する実績が豊富か 参加事業者中 1番多い 5点 〃 2番目に多い 3点 〃 3番目 〃 2点
		包括的民間委託業務（総合技術監理型）の業務実績が豊富か 参加事業者中 1番多い 20点 〃 2番目に多い 10点 〃 3番目 〃 2点
	橋梁の設計業務における企業の実務実績 (配点 20点)	
技術力	橋梁業務の点検と補修設計の各担当技術者の配置 (配点 5点)	・ 技術士 建設部門（鋼構造及びコンクリート） 5点 ・ RCCM（鋼構造及びコンクリート部門） 3点 ・ 上記の資格なし 0点
	橋梁業務の点検と補修設計の配置技術者の受賞歴 (配点 10点)	・ 国等における橋梁の維持管理の受賞歴 参加事業者中 1番多い 10点 〃 2番目に多い 5点 〃 3番目 2点
企画提案内容	インフラ包括管理の導入に関しての提案 (配点 20点)	本市の課題を踏まえて、包括管理の導入について充分理解し、実現可能性の高いスキームを提案されているか
	橋梁の包括管理に関する提案 (配点 40点)	本市の課題を踏まえて、包括管理について充分理解し、各種提案等が検証等を含めた内容となっているか
	遊休不動産の利活用に関しての提案 (配点 20点)	本市の地域課題の解決に繋がっているのか。遊休不動産の利活用方法は、実現可能性の高いスキームとなっているか
プレゼンテーション	プレゼンテーション (配点 20点)	提案内容に根拠が見られるか 補足説明等が明確で、分かり易い説明をしているか 質問に対する応答の明確性、迅速性が高いか

(4) 総合点の算定による受託候補者の選定

審査委員会は、総合点の最も高かった(株)エイト日本技術開発 神戸支店を受託候補者して選定した。

①第1次審査

順位	事業者名	総合点
1 位	(株)エイト日本技術開発 神戸支店	98 点
2 位	A 社	85 点

②第2次審査

順位	事業者名	総合点
1 位	(株)エイト日本技術開発 神戸支店	83 点
2 位	A 社	62 点

③合計評価点

順位	事業者名	総合点
1 位	(株)エイト日本技術開発 神戸支店	181 点
2 位	A 社	147 点

(5) 審査委員会による審査の流れ

審査委員会は、参加事業者によるプレゼンテーション・ヒアリングを令和6年6月10日に実施した。

プレゼンテーションでは、企画提案書による提案内容を補完する説明を受け、市が求める業務支援の実施体制、方針、実施手法、実施スケジュール等の評価を行った。

ヒアリングでは、企画提案書の内容、プレゼンテーションでは、企画提案書について、上記の内容に加えて、疑問点や本市の認識に齟齬がないか、また技術的な質問を行った。

各委員は、「企画提案書」、「プレゼンテーション」、「ヒアリング」を総合的に評価し、本市が求める充実した機能が備わっているかを、慎重かつ厳正に審査した。

3. 審査委員による審査結果（講評）

はじめに、本事業に対して関心を持っていただいたこと、提案資料等の作成にあたって多大な労力をかけ、知識を生かした貴重なご提案をいただいたことに対して、すべての参加事業者に感謝する。

評価委員では、以下の項目を中心に審査を行った。

- (1)本市の課題を踏まえて、包括管理の導入について充分理解し、実現可能性の高いスキームを提案されているか。
- (2)本市の課題を踏まえて、包括管理について充分理解し、各種提案等が検証等を含めた内容となっているか。
- (3)本市の地域課題の解決に繋がっているのか。また、遊休不動産の利活用方法は、実現可能性の高いスキームとなっているか。

以上を中心に、長期間安定的に事業を実施できるかななどを、総合的に審査・評価した。その結果、受託候補者は、下記の各項目が優れていた。

- (1)参加事業者の中でも受託候補者は、インフラ包括管理の導入に関する提案で、具体的な提案が多く、優れていた。
- (2)橋梁の包括管理に関する提案では、本市が独自に橋梁点検を行う事について、具体的な提案が非常に優れていた。
- (3)遊休不動産の利活用に関しては、具体の提案が優れていた。
- (4)プレゼンテーションでは、補足説明等が明確で分かり易い説明を行い、技術的な質問では、的確でその内容が優れていた。

以上に加えて、遊休不動産の活用による収益・コスト削減分をインフラの維持管理の財源として還流するモデルの検討に対し受託候補者は、総力で取り組もうとする姿勢が現れており高評価となった。

今後、株式会社エイト日本技術開発 神戸支店は事業契約を締結し、市民の安心・安全な暮らしに直結することを意識しながら、インフラ包括管理に伴う業務プロセスの最適化や効果検証等における高水準での検討調査を行うよう期待する。